

▶▶ 高崎市医師会の呼吸器専門医に聞きました

基本的な感染予防の徹底が感染拡大を防ぐ鍵です



土屋内科医院（問屋町2丁目）
医師 土屋 智さん

高崎のワクチン接種率は、他の自治体に比べて大変高いです。背景に、行政と医療機関が協力して接種を受けやすい体制を整備したこと、市民の接種に対する意識が高いことが挙げられます。若い世代の接種率も比較的高いですが、もう少し上がるとより安心できる状況になります。まだ接種していない人は積極的に接種してください。今後の3回目の接種でも、より効率的な接種体制を整備するために、行政や医師会、医療機関と連携していきます。

現在、市内の感染状況は落ち着いています。ワクチン接種が進み、新たな感染者は減っていますが、完全に防げるわけではありません。人との交流が増えると、感染のリスクが高まる場面も増えます。いずれまた感染拡大が起こると思い備えておくことが大切です。引き続き、基本的な感染予防を日頃から徹底してください。

Q. インフルエンザなども流行しやすい季節。体調が悪くなったらどうしたらいいの？

▶▶ ひどくなる前にかかりつけ医や市受診・相談センター（☎381-6112）などに相談して、早めに医療機関を受診してください



Q. 3回目のワクチン接種をする必要性や効果はあるの？

▶▶ ワクチンを2回接種しても数か月経つと抗体の量が低下すること、3回目を受けることで再び感染や重症化を防ぐ効果が高まるという研究報告があります。3回目の接種により、ワクチンの効果をさらに期待できます



Q. 何に気を付けて生活すればいいの？

▶▶ マスクの着用、こまめな手洗いや手指消毒、人との間隔を空ける、定期的な換気など基本的な感染予防が大切です。会食や家庭内でマスクを外すときなど、感染のリスクが高まる場面に特に注意してください



With COVID-19

特に注意が必要。感染リスクが高まる場面とは



マスクなしでの会話



密閉や密集した空間にいるとき

他にも…

- 飲酒を伴う会食、大人数や長時間の食事
- 仕事の休憩やランチなど、居場所が切り替わるとき
- 狭い空間での共同生活などの場面に注意してください



みんなでできる感染予防



今後の新型コロナの感染拡大に備えて



市の取り組み



本市をはじめ、全国的に新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きつつあります。しかし、いつまた感染拡大が起こるか分かりません。今回事業では、ワクチン接種やこれからの感染予防などについてお知らせします。

お問い合わせは、高崎市コロナワクチン問合せ電話（☎395・7300）へ。

新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、皆さんの感染予防により、感染拡大が落ち着きつつあります。引き続き皆さんの協力が重要です。特にこれからの季節は、インフルエンザなどが流行したり、忘年会や新年会など感染のリスクが高まる場面が増えたりします。こまめな手洗い、マスクの着用、人との間隔を空けるなど基本的な感染予防を徹底してください。

現在のワクチン接種の体制

市は、市内14か所の会場で行うワクチン接種を実施。予約のときに、実施日時や使用するワクチンの種類などを確認してください。予約方法は、接種券と同封の案内が市ホームページで確認してください。

3回目のワクチン接種を12月から開始します

市は、国の方針に基づき、

3回目のワクチン接種を12月から開始できるよう、準備を進めています。対象は、ワクチンを2回接種した人です。前回の接種から8か月経過した人から受けることができます。

市は、4月までに2回の接種を終えた医療従事者から、12月に接種を始める予定です。医療従事者以外の人も来年1月以降に行います。

市は、3回目の接種もスムーズに実施できるよう、市内の各医師会・各医療機関と連携し、接種体制を整備します。接種券の発送時期や接種会場など詳しくは、決まり次第、広報高崎や市ホームページなどでお知らせします。

最新情報はこちら

